

国語

試験日 平成二十八年十一月十二日(土曜日)

開始時刻 午前十時三十分

終了時刻 午前十一時三十分

注意事項

- 一、この冊子は十六ページです。落丁、乱丁、印刷の不鮮明などがあつた場合には申し出て下さい。
二、解答はかならず解答用紙(マークシート)の指定されたところの番号をマークして下さい。
三、解答用紙の受験番号欄には、かならず受験番号(七ケタ)を記入し、その番号をマークして下さい。
四、解答用紙への記入は黒鉛筆を、解答を消す場合は、プラスチック消しゴムを使用して下さい。
五、解答用紙は試験が終了したら、かならず提出して下さい。
六、試験室内で配布された問題用紙は、持ち帰って結構です。

一 次の文章を読み、後の問に答えなさい。

夏をいろいろ風 ア 詩のなかで、花火ほど魅惑的で、そしていかにも日本的な美を見せるものは少ないだろう。川の水面に映る打上花火、緑苔のまわりにはじける線香花火。日本人なら誰しもその鮮やかな光 イ と、それが消えたあとに残る闇の深さを見つめた記憶があるはずである。あるときは菊の花を描き、あるときは松の葉のかたちをつくり、それは A 獅猛(しゆまう)であるはずの火を、優しい心で飼(か)いならした芸術だといえる。セーヌ河のうえでもハドソン河のうえでも、私は日本の花火ほど純(じゆん)粋(すい)として、しかも典雅な火の饗宴を見ることがない。

うまでもなく、火を敬い、火を憧れる心は世界中にひろがっている。有名な京都の大文字の送り火にしても、起源はたぶん中国か、遠く西アジアの信仰に求められる。光を造形芸術にまで高めることなら、西洋のランプや燭台ははるかに日本の B 行灯(ぎやうてい)をしのいでいる。おそろく問題の花火そのものも、原型は火薬とともに南蛮 C ウ 米の魔術であつたにちがいない。エ 花火は、たんに燃えつづける光と炎の芸術ではない。それは一瞬に燃えあがり、たちまち燃えつづまる変化によってひとの心を魅惑する。灯火が 1 の 2 を象徴しているとすれば、花火は闇のなかに生成する 3 の 4 を象徴しているといえる。

たしか寺田寅彦であつたらうか、花火の中には「序・破・急」のリズムがある、と書いた随筆家があつた。始めはゆっくりと動きを起し、なかほど激しく開花すると、やがて暗闇にむかつて永遠に消えて行く。この三段の生成のリズムは、古くから日本の伝統的な芸術の骨格をかたちづつて来た。5 の大成者、世阿彌によれば、この「序・破・急」は水の流れにも鳥の鳴く音にも認められる。舞や歌はもちろんのこと、とんとひと踏みする足音のなかに、この日本的なリズムが働いているという。

始めがあり、中があり、終りがあり、それが整然たるリズムに乗つて展開するとき、われわれはものごとが 6 しているという印象を受ける。変化のなかにつきりした段落があり、その段落が互いに響きあつているときに変化は全体として

まとまりを見せる。よく訓練された徒手体操が美しいのは、それが変化のなかに 6 しているからであり、隙のない「序・破・急」のリズムに貫かれているからである。

オ、日本人はとくにこのリズムに敏感であり、一瞬の変化のなかにまとまりを感じるとる感受性にめぐまれてい

るのかもしれない。ひと踏みする足音のなかに、始めと中と終りを感じしつたわれわれの先祖は、十七字の俳句のなかに 6 した感情を盛りこむことに成功した。だとすれば、この独特の感受性が、花火という、いわば純粋な「変化」そのものような美を育てたとしてもふしぎではないのである。

はじけては消える夏の夜の花火を見ていると、ふと 7 悲しみがただようことは事実である。日本人は昔からそう

- 問一 空欄 ア、イ、ウ に当てはまる漢字の最適な組み合わせを一つ選び、その番号をマークしなさい。
解答欄は 1
① ア 俗 イ 沢 ウ 往
② ア 俗 イ 彩 ウ 往
③ ア 物 イ 沢 ウ 伝
④ ア 物 イ 彩 ウ 伝

問二 傍線 A 獅猛であるはずの火を、優しい心で飼いならした芸術について次の問に答えなさい。

- 解答欄はアが 2、イが 3、ウが 4。
ア ここに使われている表現法として最適なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。

- ① 直喩(ちゆうよ)明喩(めいよ) ② 隠喩(いんよ)暗喩(あんよ) ③ 倒置法 ④ 対句法
イ 「優しい心」とは何のことか。その説明として最適なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。
① 日本の伝統的な芸術を愛した後世に伝えようとする心
② 火を敬い、火を憧れる心
③ 一瞬の変化のなかにまとまりを感じるとる感受性
④ 俳句によって練磨した繊細な感受性

- ウ 「飼いならした」とはどういうことか。その説明として最適なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。
① 日本の伝統的な芸術と同じ骨格を有する美を創造したということ。
② 水の流れ、鳥の鳴く音と同じ次元で捉えた火を美に創造したということ。
③ 純粋として典雅な一方で、激しく燃えあがる美を創造したということ。
④ 火の純粋な変化を観察し、それを空間に固定する美を創造したということ。

問三 傍線B「行灯」の「行」と同じ読み方を含む語を一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 5。

- ① 旅行 ② 行方 ③ 行脚 ④ 修行

問四 空欄 1、2、3、4 に当てはまる語の最適な組み合わせを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 6。

- ① 1 光 2 永遠性 3 火 4 いのち
 ② 1 光 2 いのち 3 火 4 永遠性
 ③ 1 火 2 永遠性 3 光 4 いのち
 ④ 1 火 2 いのち 3 光 4 永遠性

問五 空欄 エ、オ に入る語の最適な組み合わせを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 7。

- ① エ けれども オ なぜなら
 ② エ それゆえ オ とにかく
 ③ エ それゆえ オ それに
 ④ エ けれども オ そして

問六 空欄 5 に入る最適な語を一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 8。

- ① 能 ② 狂言 ③ 歌舞伎 ④ 人形浄瑠璃

問七 空欄 6 に当てはまる最適な語を一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 9。

- ① 終結 ② 完了 ③ 完結 ④ 終了

問八 空欄 7 に当てはまる最適な語句を一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 10。

- ① 甘くせつない
 ② 痛切な
 ③ 若干の
 ④ そこはかどない

— 5 —

問九 傍線C「ふしぎに」一方で極端なニヒリズムに走りなかつた」について、次の問に答えなさい。

ア 「ニヒリズム」の意味として最適なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 11。

- ① 楽天主義 ② 虚無主義 ③ 悲観主義 ④ 利己主義

イ 「極端なニヒリズムに走りなかつた」ことが「ふしぎ」である理由として最適なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 12。

- ① 人生が無常であれば、人間の生の営みは無意味であり生きる意味が見出せず絶望するのが当然だから。
 ② 人生が無常であれば、いっそのこと楽しみを極め尽くそうと現在の生を懸命に生きるのが当然だから。
 ③ 人生が無常であれば、人もまた無常であるという自他の共通性を認め連帯して生きるのが当然だから。
 ④ 人生が無常であれば、現世の一切を投げ捨て後生の救済だけを願って生きるのが当然だから。

— 6 —

問十 傍線D「安定した自然」とあるが、「安定した自然」の本性に当てはまる語として適切でないものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 13。

- ① 永遠 ② 常住 ③ 不変 ④ 流転

二 次の文章を読み、後の問に答えなさい。
 書きたいことがある、伝えたいことがある、それをいかに書いていくか、考えなければいけない。しかし、いざさかギャク^①セツ的な言い方をすれば、たしかに「書きたいこと」が書き始める出発点ではあるのだが、実は、^②いったんそこから退かねば、書き始めることはできないのだ。

ここで少し考えてみていただきたい。あなたは次のようなことばをどのようなときに発するだろうか。

「^③冷蔵庫にウーロン茶のペットボトルがある。」

ひとつの標準的な場面は、自宅にいて「何か飲み物ない？」と家族か誰かに尋ねられたときだろう。それならまったく自然な返事である。しかし、これをたとえば、会社でいきなり発言したとする。書類をボンと机に置いて、ふと隣の同僚に向かって「うちのね、冷蔵庫に、ウーロン茶のペットボトルが入ってるんだ」と言うのである。

「なんだ、そりゃー」

「いや、^④だからさ、ウーロン茶が入ってるんだ。冷蔵庫に」

あるいは、通りすがりの人に向かっていきなり話しかける。「うちの冷蔵庫に……」、逃げられるだろう。あたりまえである。しかし、ここに、書くことの根本がある。「書くこと」とは、同時に「読んでもらうこと」なのである。いったい、誰に読んでもらいたいのか。たとえば、私がいまこうして原稿を書いているとき、私は、姿の見えない、どういふ人とも分からね相手に向かって語りかけなければならない。それはかなりの程度、通りすがりの人に話しかけるに等しいことなのである。読者の姿を見失うとき、文章は問わず語りのモノローグになる。そのとき、よほど^⑤幸運に恵まれているのでないかぎり、あなたはただ雑踏の中でブツブツつぶやいているだけの人になっていくだろう。

A

— 7 —

質問を相手にさせる。これが答えである。しかも、あなたの言いたいことがその答えになるような、そういう質問を相手から引き出さねばならない。

「何か飲み物ない？」という問いが発生しているかどうか。そこに、「冷蔵庫にウーロン茶がある」ということが流通するかどうかの境目があがる。問いかけがあれば、相手はその答えに耳を **B**、問いかけがなければ、たとえ同じことを語ったとしても相手は逃げていく。

ここには、何かを伝えようとするときの、もともと基本的な技術がある。私自身はそれを、書くことよりもむしろ教師として授業をする経験を通して学んだように思う。とくに哲学の授業というのは、まず何の役にも立たない。「他者の他者性はどこにあるか云々」などと、学生諸君にとってはどうでもよいと思われることを話している。自分ではだいたい話だと思っているのだが、へたをすれば、誰も聞いてなんかいないという悲惨な状況になりかねないのである。そんなとき、学生の方から質問が出されると、ぐっとやりやすくなる。「そんなことはない、学生につまりな質問をされると授業が **④** になるだけだ」という教師もいるだろう。そういう人はおそらくモノローグ型の授業をやっているのである。教室でブツブツ **④** ハクし、聴衆はただ自分ひとり、邪魔立て無用、というわけだ。

かつて、ある授業で、難しい哲学問題に私自身分からなくなってしまう、しどころ、冷や汗をかきながら終えたことがある。失敗した、そう思って教室を出ようとしたそのとき、**C**「一人の学生が、「先生、今日の授業、分かりますか？」と一言言った。そのとき、不特定の相手に何かを伝えようとする者が陥りがちな落とし穴がある。きちんと準備し、みごとに構成とわれながらはばかれ、よどみなく授業したとする。ダメなのである。そのとき教師自身がはばかれているのは、「どう教えればよいのか」という教師自身の問題に対して、自分で合格点と思える解答を得たからにはかからない。しかし、学生はそもそも「どう教えればよいのか」なんて問題は抱えていないのである。だから、流れるように授業をしても、それが答えになるようなならんのかの問いを学生たちのものに発生させなければ、学生はただ置いてけぼりを食わされるだけではない。他方、かつての授業で私は、授業中に問い直し、悩み始めた。そんなつかえつかえの進み方が、かえってよい方向に働いたのだろう。

(野矢茂樹「哲学な日々」)

問一 この文章に見出しをつける場合、最適と思われるものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は **14**。

- ① 伝えたいことをいかに書くか
- ② モノローグ型の授業は教師の自己満足
- ③ 書くこととは読んでもらうこと
- ④ 読者の問いにいかにか答えるかが作家の仕事

問二 傍線(1)「いったんそこら退かねば、書き始めることはできないのだ」と、筆者が述べた理由は何か。その説明として最適なもの一つを選び、その番号をマークしなさい。解答欄は **15**。

- ① 書きたいと思ってもしばらく時間をかけて構想をよく練ってから書くべきだと主張するため
- ② よい文章を書くには、書きたいこと他にも考えておくべきことがあるということを示すため
- ③ 書きたいと思つたことをすぐに書き始めると主観的になりやすいので、注意を促すため
- ④ 書きたいことがあつたら、読者の視点で分かりやすい表現の工夫をするべきだと言いたいため

問三 傍線(2)「冷蔵庫にウーロン茶のペットボトルがある」という発語例が、この文章において担っている役割はどのようなのか、その説明として最適なもの一つを選び、その番号をマークしなさい。解答欄は **16**。

- ① 同じことを述べるにも、ものの言い方と場面が大切であることを示す例
- ② よく考えずに思いつきで物を言うと、誤解されることがあることを示す例
- ③ 自分の家庭のことをむやみに他人に語るべきではないことを示す例
- ④ 話したり、書いたりするときには、相手の問題意識が重要であることを示す例

問四 傍線(3)「だからさ、ウーロン茶が入ってるんだ。冷蔵庫に」は、なぜ最初の発言と異なる言い方になったのか、その説明として最適なもの一つを選び、その番号をマークしなさい。解答欄は **17**。

- ① 相手が理解してくれなかったため、ウーロン茶があることを強調しようとしたから
- ② 子期せぬ返答にうらたえて、語順が乱れてしまったから
- ③ 相手の言葉にいらだつて、こんなこともわからないのかと言いたかったから
- ④ うちに来れば、いつでも冷えたおいしいウーロン茶が飲めるよと伝えたいから

問五 傍線(4)の「幸運」とはどのようなものか。その説明として最適なもの一つを選び、その番号をマークしなさい。解答欄は **18**。

- ① 構成が整ったよどみない美しい文章を読むのが好きな人と出会うこと
- ② 偶然に同じような問題意識を持ち、自分が書いたものを読みたいと思う人が見つかること
- ③ 雑踏の中でブツブツつぶやいていて、自分と同じような境遇の人にめぐりあうこと
- ④ 変なことをいう人間だと思いつつも、何でも読んでやろうという読者を獲得すること

問六 空欄 **A** に当てはまる文として最適なもの一つを選び、その番号をマークしなさい。解答欄は **19**。

- ① どうしてそうなってしまったのか。
- ② 読者を見つけるには、何が大切なのか。
- ③ そうならないためには、どうすればよいのか。
- ④ 幸運をつかむ方法はないのか。

問七 学校での授業と文筆業の共通点はどこにあると筆者は考えているか。その説明として最適なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 。

- ① どう教えればよいのかをよく考え、きちんと準備して学生がよく分かるように授業をすることは、多くの人に読んでもらえるようなよい文章を書くことに通じる。
 ② 準備不足で授業に臨めば途中でしどろもどろになってしまうように、文章を書くときにも資料を集め、構想を練ってから書き始めないと、まとまりのない文章になってしまう。
 ③ 学生にとって分かりやすい授業と教師がほれほれするような授業が同じではないように、読者が読んで満足する文章と筆者が読者の気を引こうとして書いた文章では評価が異なる。
 ④ 学生に問題意識がない状態で一方的に話をしてもらえないのと同じように、読み手が問いを発していないことを文章に書いても読んでもらえない。

問八 次の文の中で筆者の意見に最も近いものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 。

- ① 何かを主張したければ、「これはいいという問いへの答えになっているのか」と自問するところから始めなければならない。
 ② 文章を書こうと思ったら、まずいろいろな人にどんなことを知りたいか、どんなことを考えているかを取材するところから始めなければならない。
 ③ どんなによい文章を書いたとしても、読んでもらえるかどうかは運次第であると割り切つて、とりあえず書きたいものを文章にしていこうと始めるなければならない。
 ④ よい文章を書くには、学生を前に授業をしているつもりで「どんな授業をしたら学生がわかってくれるか」を考えるとところから始めなければならない。

問九 空欄 、 に入る最適な語を、それぞれの選択肢から一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は、 が 、 は 。

- B ① はさみ ② 疑い ③ 傾け ④ 貸し
 C ① 案の定 ② とんでもないことに ③ あらうことか ④ よりによって

- 13 -

問十 波線⑦「ギャクセツ」、①「トドコロ」、②「ドクハク」と同じ漢字を用いるものを、それぞれの選択肢から一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は が 、②が 。

- ⑦ ① インターネットにセツゾクする
 ② 放送用のセツビ
 ③ ショウセツを読む
 ④ 経費をセツゲンする
 ① 改革派のタイストウ
 ② タイヨされた作業着
 ③ 得意先をセツタイする
 ④ 一週間のタイサイ予定

- ② ① 心臓のハクドウ
 ② ハクシンの状態
 ③ ハクリ多売のビジネス
 ④ ハクシキの先生

三 次の各問に答えなさい。

問一 誤った読み方のものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 。

- ① 遊説(ゆうせい) ② 供物(くもつ) ③ 献立(こんだて) ④ 不朽(ふこう)

問二 誤字を含む文を一つ選び、その番号をマークしなさい。解答番号は 。

- ① 新規開店の店に客が殺到した。
 ② 彼の実績を高く評価する人は多い。
 ③ 合格通知に有頂点になっている。
 ④ 彼の専門はロシア文学だ。

問三 敬語の使い方が適切でないものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 。

【先生に対して】

- ① 父はこちらから何うと申しております。
 ② 次回の先生の講演会には必ず参加させていただきます。
 ③ 明日の午後、先生のご都合はいかがでしょうか。
 ④ 明日午後、母が先生にお会いになりたいと申しております。

- 15 -

- 14 -

問四 敬語の使い方が適切なものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 。

【病院受付で】

- ① 予約を変更なさるときは、早めにお知らせください。
- ② 大林様、おりましたら受付カウンターまでお越しくださいませ。
- ③ 診察券をお持ちしていない方は、こちらにおいでください。
- ④ (紹介状を受け取り)この件は、こちらでもご存知しております。

問五 対義語の関係になっていないものを一つ選び、その番号をマークしなさい。解答欄は 。

- ① 潜在 ↓ 顕在
- ② 率先 ↑ 追尾
- ③ 優雅 ↑ 粗野
- ④ 平易 ↑ 難解